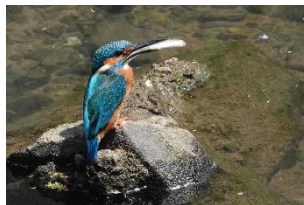


粕谷和夫の観察日。このカワセミは「捕った魚の頭を前に向けて啜って」います。魚を自分で食べるなら頭はカワセミの喉の方を向いています。これは、巢中の雛に捕った魚を運ぶための啜り方です。この場所はコンクリート3面張りの川で近くに営巣できそうな土の壁はないが、塩ビ管の排水穴が多数両側にあるのでこの穴のどこかに営巣中のようです。

紅葉台



新聞

第133号

2024年
6月8日

発行人：関谷 孝

初沢山のジャケツイバラ（蛇結莢）

紅葉台では毎月第2水曜日に「ツバメ文庫」が地域の子供たちや保護者また住民に向けて文庫活動をしています。本の読み語りやプラバンなどのものづくりなど子供たちが喜ぶような企画を考えています。その他にも、自治会の夏祭りに「本のリサイクル市」をしています。住民の皆さんに読まなくなった本を持ち寄ってもらったり好きな本を持ち帰ったりしています。8月の「夏のお話会」では、ゲストを呼んでの読み語りや怖いお話会もあります。12月のクリスマス会では手作りのプレゼントがあります。ハンドベルの演奏会も恒例になっています。スタッフの皆さんが毎年楽しい企画を考えてくれます。

八王子では近くに図書館がないので地域で「文庫」活動が盛んにおこなわれていた時期もあったようですが、今は活動を続けている団体が少なくなっています。ツバメ文庫は、中央図書館から団体貸し出しがあり、14年の間に800冊の本が入ってきました。それ以前に文庫で購入した本を合わせると現在約3000冊の本があります。また、予算から毎年新しい本の購入もしています。最近では子供たちが放課後来ることも少なくなりました。習い事や学校が終わるのが遅くなったことも来なくなった原因の一つです。特に高学年は下校時間も遅く、習い事などによりなかなか来ることが出来ません。少子化の影響もあり、年々子供が少なくなっています。運営するスタッフも高齢になり、たくさん本を出し入れする力仕事が大変になっています。これから運営していくことへの課題もたくさんあると言います。

そんな中でもスタッフの皆さんの熱心な活動は続いています。毎月全住民の家庭のポストに「ツバメ文庫から」というB4サイズのお便りが届きます。最近の話題や本の紹介、運営スタッフの皆さんの思いやメッセージ等はとても楽しくためになる話が満載で、毎月届くと真っ先に読んでいます。



5月は、「初沢山のジャケツイバラ」の話題が興味深かったです。紅葉台の1街区と2街区の間にある「どんぐり階段」の中ほどから初沢山を見上げるとジャケツイバラが見えるそうです。（見に行きました！）茎には棘がありますが春先にはたくさんのレモンイエローの花が鈴なりに咲いています。蝶々のような可憐でかわいい花です。こんな身近なところで見られるのはまれなことのようです。いつもためになる情報を教えてくれるツバメ文庫便りです。また、ツバメ文庫がこれからも地域の皆さんのために活動していることを知ってほしいです。地域の中で子育てを支援する環境を私たちも育んでいきたいです。（ボランティアで手伝ってくれる人を募集しています）

産学官で「おさんぽマップ」

別名「はちあるき」が市内3コースを紹介。杏林大学や明治安田生命などが連携して作成しました。運動初心者や普段歩く習慣のない人などにおすすめです。早速コースを紹介します。

- ①「八王子北口周遊コース」は、歩道が整備された街なかを歩きながら伝統文化を感じるコース。
- ②「西八王子満喫コース」は、八王子南口から西八王子駅までの町並みと食べ歩きが楽しめるコース。
- ③「南大沢自然散策コース」は、四季折々の風景や場工スポットなどに会えるコース。

マップは、2022年・23年に開催された大学コンソーシアム八王子の学生発表で半田英俊ゼミが奨励賞を受賞したことがきっかけで制作されました。高齢化が進む中で「へいさん寿命と健康寿命のギャップを埋めるためには継続的な運動習慣が重要」との考えからウォーキングマップの作成を提案してできたものです。休憩や水分補給なども考えられています。また、若いうちから歩く習慣をつける必要も考え「映える」写真をとることが出来る若者向けのコースを追加しています。

保健所や市民部の各事務所、市民センターなどで配布していますので興味がある方は手に取ってみてください。



粕谷和夫の観察日記



高尾山には各種の野生ランが自生しています。4月29日高尾さんの日影林道を歩いているとカヤランの花に2か所で出会いました。カヤランは小柄な着生植物で、樹木の幹や枝に気根で付着して、垂れ下がるように生育しています。出合った1か所は梅の幹に着生しているもの、もう一か所は林道に落ちていたものです。【写真下】



「ホーホケキョ」と大きな声でさえざるウグイス。しかし、いつもヤブの中に隠れていて姿を見せない鳥です。このウグイスが電線に止まって囀っていました。過去に天気が悪い日に姿を現わしてさえずっている姿を観察しています。この日も曇天であったから姿を現したのかもしれない。のどを膨らませ、口を大きくあけて囀っていました。

4月29日鳥見中にルリタテハに出会いました。成虫の状態です。冬を越した個体ですが、「瑠璃色」の模様が見



事ですね。この蝶は花にはあまり訪れず、雑木林の樹皮や動物のフンなどにやってくることも多いですが、この日は、菜の花で吸蜜している姿を捉えることが出来ました。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。